

## サンリオ、日本赤十字社医療センター小児病棟を 23キャラクターを用いた空間づくりで支援 ～子どもたちの日常に寄り添う空間をエリア全体に創出～

株式会社サンリオ(本社：東京都品川区、社長：辻朋邦、以下サンリオ)は、日本赤十字社医療センター(東京都渋谷区)の小児病棟エリア全体を対象に、のべ395m<sup>2</sup>にわたり全23キャラクターを用いた空間づくりを実施しました。2026年7月9日(木)には、完成を記念したセレモニーを開催しました。



© 2026 SANRIO CO., LTD. 著作 株式会社サンリオ

本プロジェクトは、サンリオのデザイナーが新たに描きおこした3種のデザインを使用しています。「おさんぽ&おでかけ」をコンセプトに、入院生活の中でも子どもたちがキャラクターとともに外の世界を身近に感じ、不安を和らげながら過ごせる環境づくりを目指しています。

処置室は、ピクニックをテーマにした明るいデザインを採用し、不安を感じやすい場面でも安心して過ごせるよう配慮しました。共有部には楽しいモチーフをちりばめ、自然と会話が生まれる環境を創出しています。応接室は、病院から説明を受ける場であることを踏まえ、お子さまとご家族の不安に寄り添えるよう、手をつないで歩くキャラクターを描いています。



応接室のデザイン

完成を記念したセレモニーでは、ハローキティもテープカットに参加し、会場は笑顔に包まれました。登壇された日本赤十字社医療センター院長の中島 淳様は、「入院中の子どもたちにとっては、病院は治療を受けるとともに日々の生活を送る場でもあります。サンリオの親しみあふれるキャラクターが子どもたちに寄り添うことで、不安や緊張を少しでも和らげ、笑顔や希望を感じながら過ごせる温かい環境になったと思っています。この空間が子どもたちの心を照らし、1日も早い回復に向けての力となることを願っております。」と述べました。



テープカットの様子

本プロジェクトは、[サンリオ・マテリアリティ](#)の重要課題である「Well-Beingの充足」に資する取り組みとして企画しました。「Sanrio Nakayoku Project」の活動の一つとして、ハローキティが世界各地の病院などを訪問してきた活動をさらに発展させ、空間づくりを通しキャラクターが日常的にそばにすることで子どもたちに寄り添い、笑顔の創出を目指します。

今後もサンリオの企業理念「みんななかよく」の実現に向け、ビジョン「One World, Connecting Smiles.」(一人でも多くの人を笑顔にし、世界中に幸せの輪を広げていく)に基づき、サステナビリティの取り組みを推進してまいります。

## 1.共用部(スタッフステーション・廊下など)

共用部では、「どこにおでかけするのかな？」をテーマに、明るくポップなデザインを採用しました。楽しいモチーフをちりばめ、自然と会話や想像が広がる仕掛けとしています。



スタッフステーション・廊下



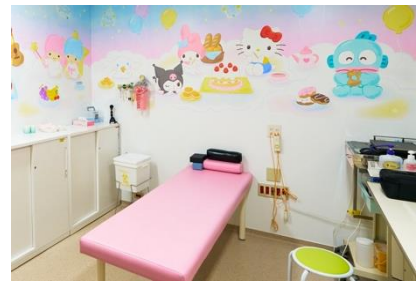
病室サイン・室名サイン

## 2.プレイルーム／処置室

プレイルームや処置室では、「みんなでピクニックに出かけよう」をテーマに、明るくあたたかみのある表現により、不安を感じやすい場面でも気持ちを和らげる工夫を施しています。



プレイルーム



処置室

## 3.応接室／長期入院病室

応接室や長期入院病室では、「みんなで手をつないでおさんぽ」をテーマに、キャラクターたちが手をつないで歩く姿を表現しました。子どもたちが一人ではないと感じ、前向きな気持ちで過ごせるようなデザインとしました。



応接室

## Sanrio Nakayoku Projectについて

本プロジェクトは、企業理念「みんななかよく」のもと、世界中に笑顔をお届けするサンリオの社会貢献活動です。その取り組みの一つとして、ハローキティが病院や施設、被災地などを訪問し、病気や障がいがある子どもたちをはじめ、多くの人々に笑顔をお届けする活動「Sanrio Character Aid」を実施してきました。本活動は25年以上にわたり継続しており、これまでに通算250回以上実施し、のべ3万人以上の方々にお届けしています。その他、パートナー企業や団体との協業、国内外のさまざまな状況の方々への寄付や支援など多岐にわたる活動を行っています。

URL : <https://corporate.sanrio.co.jp/sustainability/nakayoku/>



**【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】**

株式会社サンリオ コーポレートブランディング部 広報課  
MAIL : sanriopr@sanrio.co.jp